

こちら営農・技術センター 農産物商品開発室

味よし・色よし・形よし 特長のあるピーマン・トマトの品種紹介

消費者ニーズの多様化にともない、各種苗会社は「食味」「収量」「外観・品質」に特長のある品種を数多く発表している。一方、全農 営農・技術センターでも、青果物の生産・消費拡大に向け、隠れた有望品種を選定・紹介している。ここでは、全農とJA全農青果センター(株)が主催している野菜品種展示・商談会(以下、展示会)で提案した、ピーマン・トマト品種をいくつか紹介する。

ピーマン イチ押しは良食味カラーピーマン「ぶちピー」

ピーマンの国内生産量は約14万5,000 t (2013年・農林水産省統計情報)で、10年前(約15万1,000 t)より減少している。一方、パプリカ(カラーピーマン)の輸入量は約3万5,000 t (2014年・財務省貿易統計)で、14年前(約1万 t)より増大している。国内生産量が減少した背景には、高額な設備投資や栽培技術不足だけでなく、消費者ニーズに合った品種が選定されていないことも一因と考えられている。全農では、国内ピーマンの生産振興を目的に品種選定試験を行っており、展示会で提案した品種を紹介する。

カラーピーマンの品種選定・試験販売

全農では、カラーピーマンの品種選定試験を平成24年



▲カラーピーマンの品種選定試験

から行っており、特に「食味」「外観・品質」に特長のある品種を中心に、これまでに40品種を試作した(表-1)。



▲食味評価が高かった「ぶちピー」シリーズ

表-1 形状、食味に特長のあるピーマン品種一覧

No.	品種名	果実色	果重(g)	メーカー	展示会での評価
1	京みどり	緑	30	タキイ種苗(株)	
2	みおぎ	緑	30~40	(公財)園芸植物育種研究所	
3	ジャンボ甘長	緑	100	丸種(株)	
4	ピー太郎	緑	40	タキイ種苗(株)	
5	園研甘長	緑	20	(公財)園芸植物育種研究所	
6	ぶちピー・アップルレッド	赤	30	トキタ種苗(株)	◎
7	ぶちピー・ハニーイエロー	黄	30	トキタ種苗(株)	◎
8	ぶちピー・マンゴーオレンジ	橙	30	トキタ種苗(株)	◎
9	セニョリータレッド	赤	50~60	(株)サカタのタネ	○
10	セニョリータゴールド	黄	50~60	(株)サカタのタネ	○
11	セニョリータオレンジ	橙	50~60	(株)サカタのタネ	○
12	H55	赤	70~90	タキイ種苗(株)	
13	H Y72	黄	70~90	タキイ種苗(株)	
14	くれない	赤	80	エンザ社(オランダ)	
15	やまぶき	黄	80	エンザ社(オランダ)	
16	にしきおり	橙	80	エンザ社(オランダ)	
17	パプリ娘レッド	赤	100~150	丸種(株)	○
18	パプリ娘ゴールド	黄	100~150	丸種(株)	○
19	パプリ娘オレンジ	橙	100~150	丸種(株)	○
20	フェラーリ	赤	160~220	エンザ社(オランダ)	
21	フェアウェイ	黄	140~190	エンザ社(オランダ)	
22	ブギー	橙	140~190	ライクスワーン社(オランダ)	
23	パプリレッド	赤	200~250	丸種(株)	
24	パプリゴールド	黄	200~250	丸種(株)	
25	パプリオレンジ	橙	200~250	丸種(株)	
26	ピバ・パプリコット(赤)	赤	70	日本デルモンテアグリ(株)	
27	ピバ・パプリコット(黄)	黄	70	日本デルモンテアグリ(株)	
28	ガブリエル(赤)	赤	110	日本デルモンテアグリ(株)	
29	ガブリエル(黄)	黄	110	日本デルモンテアグリ(株)	
30	レッドホルン	赤	120	タキイ種苗(株)	
31	イエローホルン	黄	120	タキイ種苗(株)	
32	パブロンレッド	赤	150	丸種(株)	
33	パブロンゴールド	黄	150	丸種(株)	
34	フルービーレッドEX	赤	120	タキイ種苗(株)	
35	フルービーイエロー	黄	120	タキイ種苗(株)	
36	ソニアレッドペッパー	赤	100	(株)サカタのタネ	
37	ソニアゴールドペッパー	黄	100	(株)サカタのタネ	
38	L3シグナル(赤)	赤	50~70	(公財)園芸植物育種研究所	○
39	L3シグナル(黄)	黄	50~70	(公財)園芸植物育種研究所	○
40	L3シグナル(橙)	橙	50~70	(公財)園芸植物育種研究所	○

◎: 展示会での評価がとて高い、○: 展示会での評価が高い(表-2も同様)

品種の選定にあたり、栄養成分としては可溶性糖類・酸度・ビタミンC含量の測定を、食味評価としては食味官能試験を行った。その結果、良食味品種として、「ぶちピー」シリーズ(「ぶちピー・アップルレッド」「ぶちピー・ハニーイエロー」「ぶちピー・マンゴーオレンジ」)(トキタ種苗(株))を選定し展示会で紹介したところ、バイヤーからの食味評価が高かった。

平成26年には、JA全農青果センター(株)と連携して、量販店で「ぶちピー」の試験販売を開始した。全国的な作付面積はまだ少ないため、「ぶちピー」は全農の展示圃場「湘南農場」から出荷した。

売れ行きが好調だったため、今後は消費者からの評価や販売価格を調査するとともに、産地拡大も検討中である。

その他の特長のある品種

「ぶちピー」以外の特長のある品種を紹介する。

中型品種

「パプリ娘レッド」「パプリ娘ゴールド」「パプリ娘オレンジ」(丸種株)は果重が120g前後と小さめだが、果肉は大型パプリカ並みに厚く、みずみずしい。

小型品種

「セニョリータレッド」「セニョリータゴールド」「セニョリータオレンジ」(株サカタのタネ)はトマトのような丸い形をしたカラーピーマン。果肉も厚く歯ごたえがある。収穫までにかかる日数が短く、開花から45~50日で収穫できる(大型パプリカは55~65日)。

今後の展望

「ぶちピー」は良食味品種であるものの、1果重が小さく収量も少ないため、今後も生産データを蓄積して生産者に提案していく。また、「ぶちピー」に続く新たな有望品種を探索し、展示・紹介していく。

トマト
味はもちろん、果皮色も個性豊か

トマトは野菜のなかでも人気が高く、総務省の家計調査では、1世帯当たり年間の支出金額と購入数量がともに増加している。近年は、中玉トマトやミニトマトに人気が集まり、色と形に特長のある品種を見かける機会が多くなっている。今回は、これまでの展示会で提案した「食味」や「色」に特長のある品種をいくつか紹介する。

大玉トマト

食味の優れる品種として、「ぜいたくトマト」(日本デルモンテアグリ株)がある。1果重はやや小ぶりの100g程度だが、通常の栽培管理でも糖度が高くなりやすく、展示会での評価が高かった。

中玉トマト

食味の優れる品種として、赤色の「フルーツビーEX」(日本デルモンテアグリ株)と「Mr.浅野のけっさく」(株渡辺採種場)、橙色の「フルーツゴールド」(日本デルモンテアグリ株)がある。「フルーツビーEX」は安定して糖度が高く、「Mr.浅野のけっさく」は果実サイズがやや小さいものの、食味評価が高い品種である。



▲食味の優れるミニトマト品種を展示会で提案

表-2 食味や色に特長のあるトマト品種

No.	品種名	果実色	果重 (g)	メーカー	展示会での評価
1	甘っこ	赤	20	丸種株	○
2	CFプチぶよ	赤	13~15	(株渡辺採種場)	◎
3	アンジェレ	赤	10~12	シンジェンタ ジャパン(株)	◎
4	フルーツビーEX	赤	40~60	日本デルモンテアグリ(株)	
5	Mr.浅野のけっさく	赤	30	(株渡辺採種場)	
6	ぜいたくトマト	赤	70~120	日本デルモンテアグリ(株)	◎
7	華美	赤	180	丸種株	○
8	すずこま	赤	40	丸種株	○
9	フルーツイエローEX	黄	10~15	日本デルモンテアグリ(株)	◎
10	プチボンカナリア	黄	5	パイオニアエコサイエンス(株)	
11	イエローアイコ	黄	18~25	(株サカタのタネ)	
12	イエローオーレ	黄	40	カネコ種苗(株)	
13	オレンジ千果	橙	15~20	タキイ種苗(株)	
14	オレンジアンジェレ	橙	9~11	シンジェンタ ジャパン(株)	◎
15	フルーツゴールド	橙	30~40	日本デルモンテアグリ(株)	○
16	ぜいたくトマトゴールド	橙	80~130	日本デルモンテアグリ(株)	
17	チョコちゃん	茶	30	トキタ種苗(株)	
18	ブラディタイガー	茶	20	パイオニアエコサイエンス(株)	
19	マラケシアヒップ	茶	80~100	パイオニアエコサイエンス(株)	
20	トスカーナバイオレット	紫	20~25	パイオニアエコサイエンス(株)	
21	プチボンバイオレット	紫	5	パイオニアエコサイエンス(株)	
22	ミドリちゃん	緑	15~20	トキタ種苗(株)	

「フルーツゴールド」は良食味で香りの優れるトマトとして、山形県の現地で一部導入が進んだ。

ミニトマト

食味の優れる品種として、赤色の「甘っこ」(丸種株)、「CFプチぶよ」(株渡辺採種場)、黄色の「フルーツイエローEX」(日本デルモンテアグリ株)、橙色の「オレンジ千果」(タキイ種苗株)がある。色に特長のある品種として、茶色の「ブラディタイガー」(パイオニアエコサイエンス株)、紫色の「トスカーナバイオレット」(パイオニアエコサイエンス株)、緑色の「ミドリちゃん」(トキタ種苗株)がある。「甘っこ」は赤玉ミニトマトのなかでも食味評価の高い品種で、「CFプチぶよ」は赤ちゃんのほっぺのような新触感のミニトマトである。「フルーツイエローEX」は展示会での評価が特に高かった品種で、「オレンジ千果」は良食味だけでなく、橙色ミニトマトのなかでも裂果が少ない品種である。「ブラディタイガー」は果皮がやや硬いものの、果実表面にある茶色の縞模様が特徴的である。「トスカーナバイオレット」「ミドリちゃん」はトマトでは珍しい色をしているが、程よい食味の品種である。



各種苗会社には、今回紹介した品種以外にも隠れた有望品種が数多く存在している。全農では、今後も「ぶちピー」のような特長のある野菜の品種展示を継続し、青果物取扱い拡大に貢献していく。

【全農 営農・技術センター
農産物商品開発室】